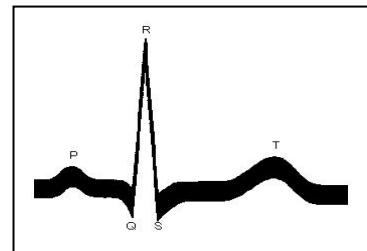


# 心電図

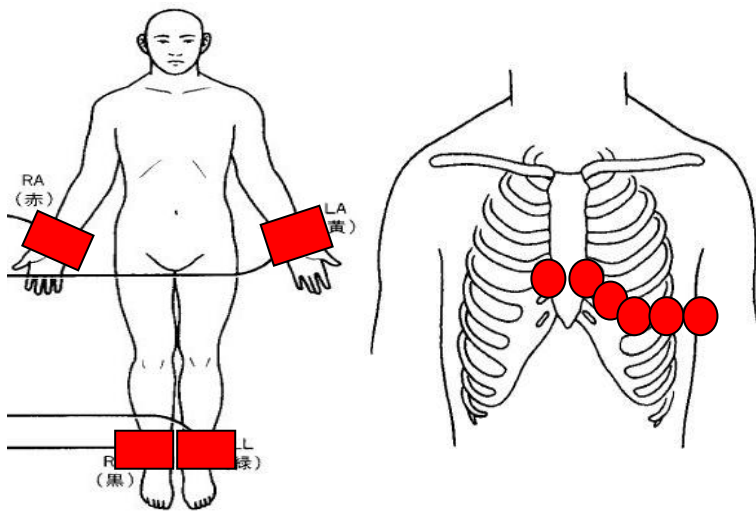
## 心電図とは？

心臓は筋肉で出来ていて、その筋肉の中を微弱な電気が流れて興奮し、拍動が起こります。この、心臓の電氣的な活動の様子を、グラフの形に記録することで、心疾患の診断と治療に役立てることができるのです！

## 実際の検査



- ① 胸・手首・足首が出るようにし、靴を脱いでベッドに仰向けになります。  
(厚着の場合は服を脱いで頂くことがあります。)
- ② 下の絵の赤い場所に電極をつけて検査をします。
- ③ 力を抜いて動かないようにします。痛みを伴うことはありませんのでご安心下さい。
- ④ 検査は2~3分程度で終了します。

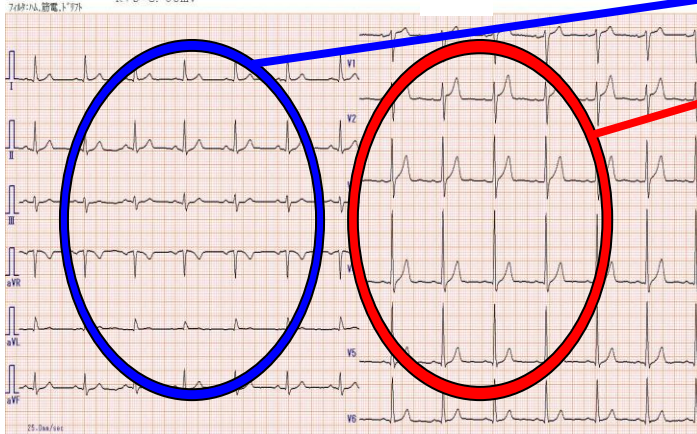


## 標準 12 誘導心電図

標準 12 誘導心電図は、最も一般的な心電図の記録法で、当院の心電図も、この 12 誘導心電図です。左右の手首・足首と胸に合計 10 個の電極を付けて記録します。

当院の心電図です。

No.00029-0950 安静時心電図  
赤平 主理検査2  
心拍数= 66 /分  
P-R=0.170秒  
P-RS=0.122秒  
QT=0.399秒  
QTc=0.419  
軸 = 21度  
SV1=1.04mV  
RV5=2.01mV  
R+S=3.05mV



(左側) 肢誘導: I、II、III、  
aV<sub>R</sub>、aV<sub>L</sub>、aV<sub>F</sub>  
(右側) 胸部誘導: V<sub>1</sub>~<sub>6</sub>

## 何が分かるの？

心電図では、心臓が規則正しく脈を打っているかがわかります。心臓のリズムが乱れる「不整脈」とよばれる病気の発見にはとても役立つ検査です。また、胸が痛くなる「心筋梗塞」や「狭心症発作」のときには、心臓内の電氣的活動にも異常が生じますので、心電図が診断に役立ちます。

このように心電図は心臓の検査の中で最も基本的なものです。